

職員による自己評価

A環境面

- ・マンションの4Fということで災害時の不安はある。エレベーターが狭い、
- ・室内は清潔を保ち広いスペースが確保できてほぼ段差はない
- ・日差しが入って明るい

B児童への支援内容

- ・支援計画は作成しているもののなかなか計画通りにいかない
- ・身体自立の支援は積極的に取り入れている
- ・日々のミーティングでその日の活動内容や注意点の申し送りをしている

C関係機関との連携

社・協（ボランティア関係）や自立支援協議会の参加は積極的にしている

D保護者への説明責任・信頼関係

- ・当日の変化や異常には迅速な対応をしている

E非常対応

避難訓練が定着していない

保護者による評価

A環境面

- ・災害時の避難が心配・出来れば1Fで広い所に引っ越しをして欲しい
- ・きれいな室内で清潔感があってよい
- ・トイレが1つしかないのが少し不安

B児童への支援内容

- ・宿題の取り組みが定着をしてくれているので安心
- ・活動内容に変化がない
- ・身体的な部分で協力を得られている

C事業所からの情報発信

- ・定期的なお便りはないが外出した時の写真を頂けるので様子が分かってよい
- ・その時の様子を送迎時に報告してくれる

D非常対応

- ・緊急時の対応が早い
- ・いつでも連絡が取れるので急なキャンセルや急な利用なども融通がきく

事業所内での分析

【共通点】

災害時の不安・立地は変わる事がないが、地域の方や自治会の方たちの協力は得られるよう説明している
送迎時に子どもの様子を報告してくれる
室内の環境が良い

【相違点】

支援計画に載っている支援と実際の活動内容との誤差がある

分析・検討してみたて…

事業所の強み

- ・肢体不自由な子どもと発達障害の子ども同士の関わりの中で出来ない子どもへのお手伝いが自然に出来ている
- ・社会福祉協議会との繋がりでボランティアさんの派遣が多い
- ・

事業所の改善点

- ・職員の資質向上を図るため研修や勉強会に参加していく
- ・定期的なお便りの発行を目指す
- ・保護者会や交流会開催の検討をする

事業所の改善への取り組み

- 家族向けの広報誌を発行していく
- 支援のスペースのレイアウトの検討をしていく
- 清潔感のある環境の維持をしていく
- 日々の支援の記録を徹底していく
- 職員の資質向上を図る
- 事業所の取り組みを地域の方たちに見学してもらう
- トイレの手すりを付けてよいか大家さんに確認を試みる

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

開所して2年が経過しましたが、まだまだ改善するところがたくさんあると感じました。子どもたちへ支援の適正さや、活動内容を振り返るとまだ出来る事があるのでは？反省があります。時間に追われる中での支援にゆとりを持った環境作りをしていきます。家族との信頼関係を今まで以上に保っていきたいと思います。

事業所名 ファミリー・キッズ鶴ヶ峰

担当者 五十嵐 恵子